

東北信における併設型中高一貫校の設置計画（案）について

高校教育課

1 設置校

設置校は、屋代高等学校とする。

[選定理由]

- ・ 質実剛健、文武両道を校訓とし、生徒会・クラブ活動などと勉学を両立させるという学校の指導方針は、豊かな人間性の醸成と伸びる力を伸ばす学力の向上を図ろうとする、本県における中高一貫校のめざす教育理念にふさわしいこと。
- ・ 平成4年度に設置された理数科、平成15年から文部科学省の指定を受けたスーパーサイエンスハイスクール（SSH）*の取組み等により、科学教育の基盤と実績を備えており、教育理念に沿った特色ある教育活動が期待できること。
- ・ 鉄道の駅から至近距離に校舎があり、交通の便がいいことから、中学生が広い範囲から通いやすい立地条件にあること。
- ・ 本年2月23日、「旧第4通学区の高校教育を考える会」（会長：小林篠ノ井高等学校同窓会長）から県教育委員会に要請書が提出され、屋代高等学校については併設型の導入を早急に検討してほしいという地域からの要請があったこと。
- ・ 6月4日付け文書で、高校教育課に、併設型中高一貫教育を導入し、本校教育の更なる充実・発展を図りたいという屋代高等学校からの要望があったこと。

2 教育理念・方針

(1) モデルケース2校の教育理念

人の心の痛みのわかる豊かな人間性の涵養、伸びる力を伸ばす学力の向上などにより、さまざまな分野でリーダーシップを発揮することができ、社会のために貢献できる人材の育成をめざす。

(2) 屋代高校の教育方針

ア 理数科やSSHで培ってきた教育資源を活用して、科学的探究心や実験的精神を育み、将来の科学技術を担う人材や確かな科学的リテラシーを持った人材を育成して、理数教育の充実・発展を図る。

イ 6年間の継続的な部活動や個性的な自立を促すキャリア教育などにより、豊かな人間性や社会性、高い倫理観、コミュニケーション能力等を持った、社会に貢献できる人材を育成し、激しい変化の時代にたくましく「生きる力」を育む教育を推進する。

3 実施年度

平成24年4月を目途に併設型中学校を開校する。

[理由]

教育課程の編成、教員の配置、施設・設備等の準備期間や、選抜方法等を決定し、児童、保護者等へ周知する期間などを考慮すると、平成24年度以降の設置が適切と考えられる。

4 教育課程

生徒会活動、学校行事等への参加に加え、ボランティア活動や社会体験活動等も計画的に取り入れることにより、コミュニケーション能力の育成を図るとともに、人間としてのあり方や生き方について考えさせることを通して高い倫理観を養う。

また、大学や研究所・企業等と連携し、本物に触れ本物から学ぶ学習を通して、実験的精神と科学的探究心に富んだ生徒の育成を目指す。

各教科においては、教育課程の特例措置^{*}を積極的に活用した中学校から高等学校までの6年間一貫した教育計画を立案し、基礎から発展的な学習内容まで、より深く各教科の内容を学習し、学力の充実と知性の啓発を図る。

5 併設型中学校入学者の決定

- (1) 通学区域 当面は県内全域とするが、自宅からの通学を基本とする。
- (2) 募集人員 2学級80人
- (3) 選抜方法 小学校からの報告書（調査書）適性検査、作文、面接などのうちいくつかを実施し、総合的に判定する。

・通学区域について

原則として東北信と中南信の2区域に分けることとしており、中南信に設置されるまでの間は、県内全域が対象となるが、中学生という発達段階を考慮すれば、自宅からの通学が望ましいと考えられる。

・募集人員について

周辺の中学校への影響や生徒間の切磋琢磨、学校の活気等を考慮すると、2学級80人程度が適当と考えられる。

・選抜方法について

詳細については、開校の1年前までに、県教育委員会において県立中学校入学者選抜要綱を定める。

6 県民への周知と意見交換

この案をもとにパブリックコメント、地域懇談会等を実施する。

* スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

平成14年度、文部科学省が構想した、科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校のこと。理科・数学に重点を置いた教育課程の開発や大学、研究機関等との効果的な連携方策について研究を推進し、将来有為な科学技術系人材の育成を行うことを目指す。

* 教育課程の特例措置

- ・ 併設型中高一貫校は、「教育課程の特例措置」として、中学校において必修教科の授業時数を減じて選択教科をおくこと、中学校と高等学校の学習内容の入れ替え、中学校で高等学校の内容を学習することなどができる。総授業時数の増などの工夫と合わせて、中学校の必修教科の授業時数のほかに学習時間を確保し、発展的な学習をすることが可能になる。
- ・ 中学校で高等学校の内容を学習することと合わせて、高等学校では、学校設定教科・科目の修得単位数を増やすことができ、より発展した学習が可能になる。